

# ロシア 東欧 経済速報

(社) ロシア東欧貿易会

2004年（平成16年）3月15日号 No. 1289

## 目次

●ロシアの行政機構再編と新内閣	服部 倫卓	1
●キーパーソン		8
ロシアの新しい駐日大使にロシュコフ外務次官／8		
●エトセトラ		8
メンバーズ・ブリーフ「タジキスタンの経済と投資環境」／8		
ロシア語版日本ガイド「ヤポーニヤ」第4版のお知らせ／8		
●ロシア東欧貿易会関連の行事予定		9
●CIS・中東欧諸国通貨の為替レート		9

## ロシアの行政機構再編と新内閣

### はじめに

ロシア下院は3月5日、先にプーチン大統領が首相に指名したフラトコフ氏を新首相に承認した。承認投票の結果は、賛成352、反対58、棄権24という圧倒的なものであり、プーチン政権と下院多数派との蜜月振りを改めて印象付けた。これを受けプーチン大統領は3月9日、「連邦執行権力諸機構の体系と構造について」と題する大統領令を公布し、連邦政府の大きな再編の骨格を打ち出した。同日にはフラトコフ新内閣の閣僚も任命されている。

そこで今回の速報では、プーチン政権が示した行政機構再編について解説するとともに、当会の人事データベースを駆使して、新内閣の閣僚のバイオグラフィーをどこよりも詳しく紹介することにしよう。

### 解説

今回の行政機構再編のポイントは、3つほど挙げることができる。①縦割り行政を排し、省庁を統合すること。②政策機能と、執行・監督・行政サービス機能を切り離すこと。③外交・安全保障・法秩序の分野に関しては、大統領が直轄する体制を強化すること。

何と言っても、省庁の数を減らし、閣僚の人数も大幅に絞り込んだことが注目される。今